

境町立学校再編整備計画(修正案)

～ 子どもたちのより良い学びのために ～

未来へつなぐ
境町の教育

目指す学校のすがた

- ★ 多様な友達と学べる環境
- ★ より充実した教育の実現
- ★ 教員体制の強化
- ★ 未来を生きる力の育成

1 はじめに

境町でも子どもの数が減少し、小規模校化が進んでいます。

- 児童生徒数の減少が今後も続く予測されます。
- 令和3年7月に「境町学校のあり方検討委員会」を設置し、約1年間にわたり検討され、令和4年5月に町教育委員会に提言をいただきました。
- 提言内容や児童生徒数の推移、教育の動向などを踏まえ、再編整備計画(案)を策定しました。
- 町民への説明会やパブリックコメントの実施などを行い、おおむね理解を得られました。
- 建設費の高騰により、当初の計画を見直す必要が生じました。

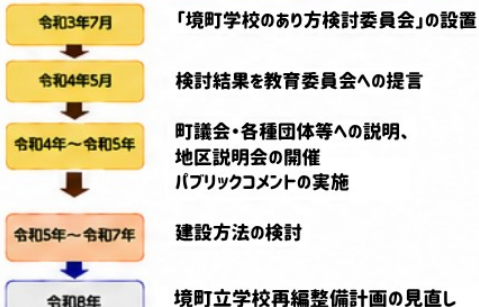
昔はこんなにたくさん!

今は少数に...



2 計画策定に当たって

これまでの検討の流れ + 今後の取組期間



今後の取組期間(第1段階): 令和8年度～令和10年度

統合に向けた準備や環境整備を進め、令和11年度の統合開校を目指します。

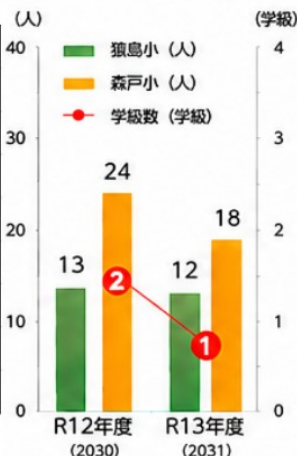


3 統合後の児童数・学級数及び今後の推移

【R11年度 猿島小・森戸小を統合した場合の児童数及び学級数】

【今後の入学予定者数】

令和11年度	猿島小		森戸小		合計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	13	1	15	1	28	1
2年	19	1	19	1	38	2
3年	18	1	24	1	42	2
4年	10	1	19	1	29	1
5年	32	1	25	1	57	2
6年	23	1	22	1	45	2
計	115	6	124	6	239	10



5 境町モデルの導入

「チーム担任制」と「教科担任制」を併用し、統合後の教育の質を高めます。

① チーム担任制 (複数担任制)

複数人の先生でチームをつくります!



一つのクラスや学年を、複数の教員で共同して担任し、指導や業務を分担する体制です。

期待できる効果

- 子どもを多面的に把握しやすく、問題の早期発見に繋がります。
- 子どもが「話しやすい先生」を見つけやすくなります。
- 若手教員の育成や組織の質の向上に繋がります。

② 教科担任制

例えば、こんなイメージです!



期待できる効果

- 教員が得意な教科を担当するため、授業内容が専門的でわかりやすくなります。
- 同じ内容を複数学級に教えることで、教え方や教材が洗練され、授業の質が安定しやすくなります。
- 複数の教員が関わることで、組織的に協働しながら、学習面や生活面など、より多角的に把握しやすくなります。

4 学校再編案について

当初案を見直し、以下の方針を進めます。



見直しのポイント

- 児童の学びや安全を優先に、早期の統合を目指します。
- 第1段階
・新たに小学校2校の統合について、進めます。
・建設費の高騰に伴い、既存の学校を活用します
 - 第2段階
・統合した小学校と境二中の統合を目指します。
・義務教育学校として整備し、小・中一貫教育を目指します。

新しい方針

第1段階

「小学校2校の統合」を進めます。



第2段階

「統合小学校と境二中」を統合し、「義務教育学校(小・中一貫)」を目指します。

見直しの比較検討(既存校の活用にあたっての比較)

項目		猿島小	森戸小
施設の形状	管理・監視のしやすさ	○	△
	バザー・マップによる浸水想定	○	△
立地と安全性	敷地の広さ	○	△
	現施設の状況の良さ	○	△

➡ 猿島小の施設を活用したほうが良いと判断できる



子どもたち一人ひとりが未来に向かって輝けるよう、より良い教育環境づくりを進めていきます。

境町教育委員会